

# 戦争法廃案・原発のない未来へ 大集会へ結集する!



組合員の購読料は  
(組合費に含まれます)  
港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 菊池忠志  
編集責任者 樋口孝重

No. 776 定価 20円

2016年  
4月15日

結びつき  
つながり生かして  
大胆に  
国労加入を  
訴えよう!  
QRコードから  
でも閲覧できます  
<http://www.e-nru.com/>

安全保障関連法の施行から半年が経過しました。現在でも毎月19日に「戦争法廃案」に向けて、全国から国会前に抗議行動が取り組まれています。また、東日本大震災での東京電力福島第一原発事故から5年が経過して、全国各地で原発のない未来へ向けた行動が展開されています。国労東日本本部としても、戦争法廃案・脱原発・辺野古新基地建設反対の闘いの強化を取り組んでいます。今号は、戦争法廃案・脱原発の取り組み、自動車協議会定期委員会、組織拡大について、の報告とします。

## 3/12 2016 原発のない福島を! 県民大集会

東日本大震災での東京電力福島第一原発事故から5年が経過した3月12日、福島県郡山市で「2016原発のない福島を!県民大集会」が開催され、国労からも本部・東日本本部及び各地本から参加をしました。角田政志実行委員長は「福島の現実を置き去りにして原発の再稼働を許すことはできない。福島第二原発の廃炉と日本中の原発の廃炉を求めていこう」とあいさつ。さよなら原発

1千万人署名市民の会呼びかけ人の鎌田慧さんからは「3月9日に大津地裁が出した高浜原発3・4号機の運転差し止め仮処分は『司法が初めて日本で運転中の原発を止めた』という画期的な出来事。私たちの原発再稼働反対の運動の結果であり、確信を持って行こう」と激励と連帯のあいさつがありました。さらに4氏(津島被害者原告団・大熊町住民・高校生平和大使・ストップ川内原発!鹿児島実行委員会)からリレートークの訴えがあり、改めて原発と人間は共存できないことを痛感し



た集会となりました。その後は集会アピールを採択し、市内のパレードでは住民の方から激励を受けて連帯感も高まりました。私たち国労も全国で原発再稼働反対の運動をさらに広げていく決意を固め合い、原発のない日本をめざして奮闘しましょう。

## 3/19 戦争法廃止!安倍政権の 暴走許さない 3・19 総がかり日比谷大集会



安全保障関連法成立から半年の3月19日、法律の廃止を訴える「戦争法廃止!安倍政権の暴走許さない」の熱い訴えの声が上がりました。開会のあいさつで「戦争をさせない1000人委員会」の福山真劫さんは「市民運動で安倍政権を包囲し、選挙で野党を勝利させ

## 3/26 原発のない未来へ! 3・26全国大集会

3月26日、脱原発を求める「原発のない未来へ!3・26全国大集会」が東京・代々木公園において開催されました。(主催者発表35,000人)東京電力福島第一原発の事故から5年が経過しましたが、今も自己収束の道筋は見えず、放射能に汚染された水は海に流れ続けています。しかし、政府は各地で原発の再稼働と、海外への原発輸出を加速させてい

ます。原発事故の惨禍を教訓として、再稼働を許さず、一日も早い脱原発社会を実現するため、被害者となりが支えるために取り組みを強化する必要があります。当日は、第3ステージに分けて集会が開催されました。戦争をさせない・9条壊すな!総がかり委員会、安保関連法に反対するママの会、SEALDS、などの団体が参加。それぞれの力強い呼び掛けで集会を盛り上げると共に、集まった大勢の仲間達と原発のない未来を目指す誓いを固め合

るため、全力で支えよう」と訴えました。さらに高校生グループ「ティーンズソウル」で活動する女子生徒による「戦争がなく、未来の子どもたちが希望を持てる社会のために行動したい」と語ったスピーチを始め、多くの呼び掛け人がそれぞれの立場からの思いを呼び掛け、会場に集った参加者に訴えました。集会後にはデモ行進を行い、戦争法廃止を訴えるシュプレヒコールで道行く市民へ力強くアピールしました。



国労からも全国から仲間が結集し、集会後には新宿中央公園コースをデモ行進をしながら、「原発はいらない」「再稼働反対」と声を上げ、賑わう街の市民へ脱原発の思いを強く訴えました。

# 自動車協議会 第28回 定期委員会 2月18日・19日 開催!



2月18日～19日、長野県上山田温泉・上田館において第28回国労東日本自動車協議会定期委員会が開催されました。

冒頭、1月15日未明に発生した軽井沢スキーバス事故（死者15人、重軽傷者26人）で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするため全員で黙とうを捧げ開会しました。

唐沢副議長が司会と議長を兼ねて議事が進められ、自動車協議会を代表して丸山議長より「軽井沢町のスキーバス事故の原因は特定されていないが適性検査・健康診断の未実施、運行計画書に記載のない運行、点呼の未実施など法令違反が明らかとなつている。規制緩和以降、事業者が乱立し運転手の過労が問題とな

る中、あつみ野観光の事故や関越道の事故が発生した。原点に立ち返り安全・安定輸送を考え交通労協と共に国交省に規制強化を訴えていかなければならない」と挨拶がされました。

来賓として東日本本部佐藤書記長からは「昨年11人拡大し、和解以降202人拡大している。国労を選択した仲間を職場でしっかり支え、組織の強化・拡大に向け議論と行動を起こそう。2月12日、賃金改善の申し入れを行った。班・分会活動を活性化し全組合員参加の春闘を職場から盛り上げるのが大切。JR東日本において重大インシデントや大規模輸送障害が発生している。バスにおいても軽井沢スキー

バス事故で一瞬にして多くの尊い命が奪われた。法令に基づいたルール作りをしつかり取り組んでいく。東日本大震災から5年目を迎えようとしているが未だ収束されていない。3月には安保安関連法が施行となる。反原発・再稼働反対の取り組みを強化し戦争をさせない国づくりのため7月の参議院選挙をしつかり取り組もう」と情勢報告と問題提起がされました。

各委員からは「会社施設を利用して分会大会を開催、大きな成果となっている」「拘束時間13時間を超えるダイヤが多く寝不足だ」「運行表や座席表をタブレット端末にしているがフリーズする」と立ち上がり5分ぐら

いかかる。乗客に到着時刻を聞かれると対応できない」「エルダーの賃金は半分なのに労働時間は同じではおかしいと思う」など職場の問題点が多く出されました。また、要望として「エルダー社員の病気休職が何故なのか」や「関連会社には

多く出されました。また、要望として「エルダー社員の病気休職が何故なのか」や「関連会社には

# 大宮地区本部 大宮車両所分会 加入歓迎会 2月26日 開催!

2月5日付で国労に加入した松本康平さん（24歳）の「加入歓迎会」が、2月26日に大宮に於いて開催されました。

冒頭、大宮車両所分会・橋本執行委員長より「2年ぶりに加入してくれた松本君を心から歓迎する。引き続き、多くの仲間を迎え入れよう」と挨拶を受け、続く来賓挨拶

社宅・寮をはじめバスなど福利厚生面で親会社と差がある。東日本と話をしてほしい」などの意見が出され、佐藤書記長より東日本の交渉において検討したい旨の回答がありました。

最後に丸山議長が「軽井沢の事故をみても分かる通り、私たちの使命は安全・安定輸送にある。

では本部・矢部執行委員、東日本本部・佐藤書記長、東京地方本部・佐藤組織部長、常盤教宣部長、中嶋青年部長、全国貨物協議会・木村事務局次長、東日本工作協議会・小野議長、大宮地区本部・小林執行委員長など遠方からも、この歓迎会へ出席して頂き、御挨拶並びに加入を歓迎する言葉を頂きました。

また、大宮工場支部からは宇塚執行副委員長・増田書記長、大宮総合車両センター分会・木村執行委員も出席され、大宮車両所分会組合員を含め総勢25名により、今回加入してくれた松本君の歓迎を受けました。

また、同期である丸山君からも「いつか入ってもらいたかった。今回加入してくれた本当にありがとう」との言葉や東京地本中嶋青年部長からは「全国の青年の刺激となり、これからやるぞという気持ちになつた」など、

交流会では仲間から『お題目を並べている運動では駄目だ』と苦言をいただいた。次期大会には新しい仲間の名前が議案書に載るように職場で精いっぱい取り組んでいこう」と集約し、新たに選出された北山議長の団結ガンバロウで閉会しました。

終了後、軽井沢スキー

迎を祝福しました。加入した松本君からは「国労に魅力を感じ加入を決意した。全国から檄を頂き本当に加入して良かったと思う。今回、遠くからも自分ために出席してくれた事が大変嬉しく思った。どうもありがとうございました」と挨拶を受けました。

また、同期である丸山君からも「いつか入ってもらいたかった。今回加入してくれた本当にありがとう」との言葉や東京地本中嶋青年部長からは「全国の青年の刺激となり、これからやるぞという気持ちになつた」など、



同年代の仲間からも祝福の言葉を頂きました。現在、全国から檄布や激励が毎日のように届いています。全国の仲間温かい気持ちに感謝するとともに、今後も16春闘をはじめとした諸闘争に全力をあげ、共に闘いぬく決意です。

**新登場。**

最新のがん保険、**アフラック**

はじめダック

Since 1974

● 募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）

アベニール株式会社

TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日